

東 魂



埼玉県立越谷東高等学校
剣道部通信
第 35 号 2021/4/20

『令和 3 年度春季東部支部高校剣道大会②』

長宗 智恵美

今回、残念ながら女子は団体戦に出ることが出来ませんでした。準備の段階で沢山働けたり、役員としての役割をしっかりと果たすことができ良かったと思います。また、役員でしか見られないような試合も見れて、男子の団体戦では息を飲むような試合を間近で見ることができ、良い経験が出来ました。個人戦では思うような結果にならず、とても悔しかったです。この悔しさをバネに引退まで残りわずかの稽古を毎日大切に頑張っただけでゆきたいと思いました！

小島 麻陽

この 2 日間で私は大会ができるのは、役員の先生方がいるからこそ成り立っているのだということを知りました。1 日目の団体戦で私は役員という形で大会運営を手伝いました。準備や片付け、試合結果をパソコンでまとめたりと大変だったけれど、色々学ぶことができ、いい経験をしたと思います。大会や練習試合ができるのは誰かが準備や運営をしているからこそでき、こういう方たちに感謝の気持ちを忘れないようにしようと思いました。公式戦の個人戦は初めての出場でした。結果は納得いくものにはなりません。この試合を振り返ると緊張のせいか思い通りに体が動かなくなっていました。先生が前に仰っていた練習は試合のように、試合は練習の気持ちでというのは、その通りだとこの大会を通して思いました。この大会で毎日の練習の大切さと大会ができることの感謝の気持ちを学ぶことが出来ました。このことを忘れず日々の稽古に励みたいと思います。最後に男子県大会出場おめでとうございます。

亀田 龍飛

この 2 日間で学んだことはまず、選手として自分が団体戦でどのような立ち位置なのかをしっかりと把握した剣道が出来ませんでした。普段通りの剣道ができてなかったのが自分自身がいちばんよくわかりました。県大会まで数日しかないので、普段通りできるよう一日一日を大切にします。そして 2 日目のサポートとして大会会場に行った際に先生に挨拶がしっかり出来なかったのが反省点です。先生から常日頃仰っている挨拶をしっかりするようこれからまた初心に戻って後輩の手本となるよう頑張ります。

